



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・ピー・エス

コード番号 4335 URL <http://www.ips.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長兼内部統制推進室室長 (氏名) 生田 裕彦

TEL 06-6292-6236

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	1,248	52.6	33	—	33	—	21	—
27年6月期第2四半期	818	41.1	△23	—	△24	—	△19	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	9.10	—
27年6月期第2四半期	△8.19	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年6月期第2四半期	1,408	—	723	—	51.4	302.97
27年6月期	1,216	—	708	—	58.2	296.37

(参考)自己資本 28年6月期第2四半期 723百万円 27年6月期 708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	—	0.00	—	2.50	2.50
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	10.5	80	—	80	—	53	—	22.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料2ページ『2サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用』をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期2Q	2,466,000 株	27年6月期	2,466,000 株
② 期末自己株式数	28年6月期2Q	77,000 株	27年6月期	77,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期2Q	2,389,000 株	27年6月期2Q	2,389,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品融商取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)2ページ「1.当四半期に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出に弱さがみられたものの、企業収益や雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調となりました。一方、中国の景気減速が鮮明となり、グローバル市場の動揺が世界経済の減速感を強めつつあり、景気の加速が見込みにくい中で企業や家計の消費マインドが慎重化するなど先行きに対する不透明感が高まっています。

当社を取り巻く環境においては、税番号制度への対応に向けた投資の本格化やグローバル展開する大手企業による情報システム投資の積極化など市場の成長は続くものと見込まれますが、当社が営業の主力とする中堅企業は慎重な投資スタンスを継続しております。

かかる状況の下、当社は顧客ニーズに適応した営業提案を実施するとともに、SAP ERP導入後の活用に向けたソリューションの提供を通じて、積極的なコンサルティング活動を推進してきました。

当第2四半期累計期間におきましては、大口のSAPライセンス販売が売上高増加に大きく寄与したことや、第1四半期会計期間で増加した仕掛案件が順調に売上計上されたことなどにより、売上高は大幅に増加することとなりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高12億48百万円（前年同期比52.6%増）、営業利益33百万円（前年同期は営業損失23百万円）、経常利益33百万円（前年同期は経常損失24百万円）、四半期純利益21百万円（前年同期は四半期純損失19百万円）となりました。

なお、当社はERP導入事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における当社の財政状態は、前事業年度末と比較して、資産合計が1億92百万円増加して14億8百万円となり、負債合計が1億76百万円増加して6億84百万円となり、純資産合計が15百万円増加して7億23百万円となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1億30百万円増加し、3億13百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億38百万円の収入（前年同期は1億50百万円の支出）となりました。これは税引前四半期純利益33百万円（前年同期は税引前四半期純損失19百万円）、売上債権の増加による収入2億88百万円（前年同期は1億53百万円の支出）、たな卸資産の減少による収入1億55百万円（前年同期は58百万円の支出）、前受金の減少による収入1億23百万円（前年同期は50百万円の支出）、仕入債務の増加による収入2億66百万円（前年同期は59百万円の収入）、前払費用の減少による収入66百万円（前年同期は46百万円の収入）等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは10百万円の支出（前年同期は9百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出9百万円（前年同期は4百万円の支出）等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1百万円の収入（前年同期は7百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加による収入9百万円、配当金の支払による支出5百万円（前年同期は5百万円の支出）等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年8月12日に発表しました業績予想を修正しております。その内容につきましては、平成28年2月8日に公表しております「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	183,167	313,176
売掛金	389,903	678,021
仕掛品	270,243	75,438
その他	169,230	137,443
流動資産合計	1,012,544	1,204,081
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	24,994	21,877
工具、器具及び備品(純額)	7,602	6,749
土地	19,003	19,003
リース資産(純額)	3,348	2,347
有形固定資産合計	54,947	49,977
無形固定資産		
ソフトウェア	13,098	10,356
その他	5,259	13,927
無形固定資産合計	18,358	24,283
投資その他の資産		
繰延税金資産	65,049	65,049
差入保証金	50,300	49,335
その他	15,200	15,900
投資その他の資産合計	130,549	130,284
固定資産合計	203,855	204,545
資産合計	1,216,400	1,408,627
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,208	350,147
短期借入金	90,088	100,000
未払金	52,745	54,763
未払費用	1,041	931
未払法人税等	1,357	13,217
賞与引当金	7,319	6,463
その他	165,310	46,403
流動負債合計	401,070	571,925
固定負債		
退職給付引当金	84,090	87,759
その他	23,223	25,158
固定負債合計	107,313	112,918
負債合計	508,384	684,843

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	94,202	94,202
利益剰余金	380,787	396,555
自己株式	△22,223	△22,223
株主資本合計	708,016	723,783
純資産合計	708,016	723,783
負債純資産合計	1,216,400	1,408,627

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	818,093	1,248,140
売上原価	659,686	1,035,489
売上総利益	158,406	212,651
販売費及び一般管理費	182,141	178,834
営業利益又は営業損失(△)	△23,734	33,816
営業外収益		
受取利息	80	60
未払配当金除斥益	129	116
その他	4	104
営業外収益合計	214	281
営業外費用		
支払利息	166	343
為替差損	750	—
コミットメントフィー	—	216
その他	29	—
営業外費用合計	947	560
経常利益又は経常損失(△)	△24,467	33,537
特別利益		
会員権売却益	5,375	—
特別利益合計	5,375	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△19,091	33,537
法人税等	482	11,797
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,573	21,740

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△19,091	33,537
減価償却費	12,896	8,699
差入保証金償却額	342	965
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,069	3,669
受取利息	△80	△60
支払利息	166	343
その他の営業外損益 (△は益)	—	100
会員権売却損益 (△は益)	△5,375	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△153,500	△288,118
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,526	155,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,440	266,938
前受金の増減額 (△は減少)	△50,177	△123,367
前払費用の増減額 (△は増加)	46,557	66,410
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,198	9,729
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,295	△2,146
その他の負債の増減額 (△は減少)	10,095	△737
小計	△145,281	131,509
利息の受取額	80	60
利息の支払額	△166	△343
法人税等の支払額	△5,505	△123
法人税等の還付額	—	7,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	△150,872	138,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,350	△652
無形固定資産の取得による支出	△4,469	△9,002
貸付金の回収による収入	500	500
会員権の取得による支出	△6,075	—
会員権の売却による収入	9,675	—
保険積立金の積立による支出	△1,200	△1,200
その他	△1,764	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,682	△10,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△5,984	△5,919
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	9,912
リース債務の返済による支出	△1,210	△1,295
その他	—	△1,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,194	1,684
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△167,750	130,009

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	340,039	183,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	172,289	313,176

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。